



2005 シーズンがいよいよスタートします!

お知らせ

平成17年度ウインチ上下架料金について

平成17年度以降、上下架料金を年会費制から1回制へ、または1回制から年会費制に変更を希望される方は、4月20日までにマリーナまでご連絡ください。
年会費という性質上、年度途中でのご変更はお受け致しかねますのでご注意ください。特にご連絡がなければ、昨年度と同じ上下架料金をご請求させていただきますのでご了承ください。

大型桟橋をご利用の方々へ「共同下架」のご案内

例年どおり下記の日程で共同下架の実施を予定しております。今回の共同上下架からは、9:00から全員で作業を開始できるよう作業開始10分前にその日の参加者の点呼・ミーティングを行なうこととなりました。3時間という限られた時間内に多くの船を上げ下ろしするには、参加者全員の協力が必要となります。マリーナ側としても一度に多くの船がレッカーを利用する「共同上下架」作業は、通常の定期配置よりも皆様に安価にご利用いただけるような値段設定としておりますので、参加者の皆様にはその旨ご理解・ご協力をお願いいたします。なお、定期配置の日程については後日、HP・文書にてご案内いたします。

<日時> 第一回目 4月29日(金) 8:50 集合 9:00~12:00 まで
第二回目 5月 1日(日) 8:50 集合 9:00~12:00 まで

29日は外洋ヨットクラブによる安全祈願祭が8:30から別途開催されます。

マリーナタオルの進呈

マリーナのマーク入りバスタオルをご希望の方に差し上げます。マリーナの窓口にて配布いたしますので、ご来所の際には、お申し出ください。(各艇1本とさせていただきます。なお、進呈本数に限りがあります。なくなり次第終了とさせていただきます。また進呈期間は、平成17年5月5日までとさせていただきます。)

浚渫の予定作業の延長

昨年の10月より行なっておりましたマリーナ港内の浚渫(砂取り)作業ですが、今年は、連日の悪天候に見舞われ予定よりも多少遅れているため、引き続き作業をさせていただきます。



現在のところ砂の堆積による航路の制限など特段の規制はありませんので、基本的には通常通りご利用いただけます。(作業中の船は四方に固定用のロープを張り巡らせています。作業中の出入港については作業船の指示に従ってください)皆様には、出入港に際しご不便をおかけいたしておりますが、何卒ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。



新潟ポートショーに出店PRしました

去る2月26日(土)・27日(日)新潟市の産業振興センターにて第15回新潟ポートショーが開催され、今年で3回目の出展となる当マリーナも、昨年に引き続きPRのために出展いたしました。

今年は昨年に比べ気温も低い中、2日間でのべ5,811人の来場者があったそうです。毎年2月の初旬には東京でポートショーがあるものの気軽に行ける距離ではないため、各地方のポートショップや関係機関の協力により地元で開催出来るようになったのが今回の新潟で行なわれたような各地方のポートショーです。

普段、実際に見て触れるような機会が少ない分、来場された方たちの中にも真剣なまなざしの方が多く見受けられました。また家族連れで来場される方々も多く、子供達もはじめてさわる船の感触にとっても興奮していたようです。



「イルミネーションについて」

昨年の年末年始までの期間、「電飾できらめく冬のマリナー」と題して、駐車場に上架中のヨットに、夜間（日没～日の出）イルミネーションを行なっておりましたが、好評のため各方面から引き続き行なって欲しいとの要望もあり、4月下旬にヨットが下架するまでの期間、延長して行なわれることとなりました。



おさかな事典 第10回 「^{めぼる}眼張」 カジカ目フサカサゴ科 地方名メバリ、メバチ、ハチメ

カサゴとともに卵胎生（魚の形で生まれる）として知られる魚で、春を代表する春告魚ともいわれています。メバルの仲間は数種類あり、釣れる場所によって色が違うようですが同種という説が有力だそうです。

沖の船で釣られるものは色が黄色～橙色であることから、オキメバルとも呼び、マリナーの皆さんが釣っているのも大半はこの沖メバルです。この魚は頭を水面に向け、立ち泳ぎする習性があり、またその大きな目からその名前がついたように、大変目のいい魚だそうです。

そのため、ハリスが太いと見破られて食いが悪くなるということで、みなさんそれぞれ仕掛けには工夫を凝らしているようです。その反面釣れてからのメバルはそれほど暴れないため、細い糸でも切れにくいので、アタリが出てもすぐに上げないで、追い食いさせてから一度に数尾ずつ効率良く釣るので、群れに当たると20～30匹位は楽に行き、釣っても楽しく、食べても煮付けや塩焼きなど美味しい魚ではないでしょうか。

小型	中型	大型	超大型
～15cm	15～30cm	30～40cm	40cm～



整備工場だより

【小型船舶の登録】

3年前から小型船舶にも登録制度が開始され、当マリナーの所属艇については、おかげさまでそのほとんどが登録を終えることが出来ました。登録にあたっては、印鑑証明・登記簿謄本等の準備など、皆様にはいろいろとご協力をしていただきありがとうございました。

未登録艇については、今後登録を終えない限り航行の用に供することは出来ませんのでご注意ください。

【航行区域】

昨年11月1日より設定されました新しい航行区域「沿岸」は3月現在当マリナー所属艇では2艇（4月に定期検査を行う艇）が申請中です。

現在、佐渡へ行けても一周は出来なかった艇が今後「沿岸」をプラスすることにより佐渡一周が出来ることとなります。（もちろん日本一周も可能です！）

少々の用品（備品）をプラスすることで「沿岸」区域が取得できますので、今後検討してみるのも一考かと思えます。（マリナーまでご相談ください）

【本格的シーズンを前に】

海のシーズンも近づいてきました。毎年出航しようとしてもバッテリーが上がっていたり、ステアリングが動かなかったり、エンジン不調で出航できないケースがいくつか発生しています。

出航予定日がはっきりしたら、前日ではなく、4～5日前までにご一報ください。バッテリーやステアリングの状態を工場にて点検整備させていただきます。

特に最近のガソリンは添加物が多くいわゆるガソリンが腐るといったケースが多々あります。メーカーの話では、3ヶ月間使わなかったガソリンは思い切って入れ替えてくださいとのことです。

ロープワーク講座

・・・ フィッシャーマンズ・アンカーバンド (錨結び)

船の装備品の中でも、重要なものの一つとして皆さんの船にも必ずある「アンカー」ですが、今回はそのアンカーと船をつなぐロープの結び方をご紹介しますと思います。

波やうねりがあり常に揺れ動いている海の上で、自船をその場に留めておくには、海底に打ったアンカーの効きだけが頼りです。そしてしっかりと効かせたアンカーに結んだロープが船を留めるのですから、その結びに掛かる責任は重大です。この結び方は、アンカーだけにとどまらず、係船索に使用するなど強い力が長時間かかる場合に有効です。そしてその強い力を吸収できるように2回まわしたロープにくぐらせスプリングの役目を持たせているのです。アンカーロープやもやいがほどけたりすることはあってはならないことですので、この機会に知ってる方も知らない方も練習してみてください。



まず、ロープをアンカー又はチェーンのシャックルに2回まわします。



次にそのロープエンドで2回まわしたロープを束ねるようにしてくぐらせます。



あとは、残りの部分を「もやい結び」で結べば完成です。ロープエンドは邪魔にならない様、細いひも等で固定してください。



通常アンカーには効きを良くするために、モニター(重り)としてチェーンを付ける場合がほとんどです。その為ロープよりも硬いものに結ぶ場合は必ず擦れ止めをしましょう。(ホースなど)

2004年度レスキュー報告 (04 4~05 3)

04年度のレスキュー艇の出動回数は合計4回でした。03年度の出動回数は11回でしたので、前年度を大きく下回る出動回数であったこととなります。

海上では陸上と違い、道路もなければガソリンスタンドもありません。おまけに風が出てくれば、船は車と違いあっという間に流されてしまうため、エンジンのトラブルは即漂流へとつながります。普段からエンジンのメンテナンスに気をつけていても、不意のトラブルはあるものです。そんなときこそ落ち着いて、点検しなおす余裕が必要ではないでしょうか。



時期	救助要請時間	場所	トラブルの状況	原因
16年 6月初旬	10:00~ 12:40	高浜沖 約3.0km	エンジンが始動しないとの連絡入る。至急、現場に向かい曳航して帰港する。	燃料ポンプの経年劣化による動作不良。その後交換。
6月初旬	8:45~ 9:45	椎谷沖 約9.0km	バッテリー上がりのためエンジン始動せず。現場にてケーブルつなぎ対応。自走して帰港する。	バッテリーを長期間使用したことによる著しい性能の低下によるものと思われる。今後のことも考え交換。
6月下旬	9:00~ 9:20	鯨波海水浴場 約100m	エンジンが始動しないとの連絡入る。現場にてエンジンを始動させ、その後自力で帰港する。	始動方法に問題があったと思われる。船外機始動の際にはスロットルを開き気味にし、チョークをかけてやって下さい。
7月下旬	6:15~ 6:30	青海川沖	早朝、前後進シフト入らず自走不可との連絡入る。現場に向かったが、近くにいたマリナー所属艇に曳航され帰港した。	製造上の問題で未然に防ぐことは不可能だった。

海の道しるべ...灯台

直江津港西防波堤灯台

1994年の防波堤の延長にともない灯台を移設するにあたり、地元の要望により上杉謙信の居城「春日山城」の城郭をイメージして建て替えた灯台です。

こういった灯台は地方の歴史・伝統・文化等を次の世代に伝え遺すために、その象徴となるものあるいは記念すべきものをデザイン化した灯台です。

海上保安庁では地域振興の一環として、地元の地方公共団体及び港湾管理者などと協力して、地域のシンボルとなる灯台の建設を行っています。

こういったデザイン灯台と呼ばれる灯台は地元のシンボルとして特徴的な外観をもっており、管区内には他に、佐渡おけさを踊る人の姿をイメージした「両津港北防波堤灯台」(通称おけさ灯台)や地元のシンボルである「蛸イカ」をイメージしたマスコットを手すりに取付けた「滑川港防波堤灯台」などがあります。他にも全国のデザイン灯台には、「人物型、展望台型、シンボル型、クラシック型」など特徴的な灯台が数多くあるようです。

位置	所在地	新潟県 上越市 (直江津港西防波堤先端)
	北緯	37度12分30秒
	東経	138度15分25秒
灯質(光り方)		毎8秒に赤光2閃光
光度(光の強さ)		閃光実効光度1,400カンデラ 不動光130カンデラ
光達距離(光の届く距離)		閃光10.0海里(約19km) 不動光5.0海里(約10km)
高さ	地上から頂部まで	18.78メートル
	海面から灯火まで	21.76メートル
初点灯年月日		1971年10月20日

海上保安庁資料より

掲示板

マリーナ管理棟窓口に気象用モニター置きました

今まで、管理棟窓口にて気象状況を貼り出しておりましたが、この度インターネットを利用した最新の気象状況を利用者の皆様にご覧いただけるよう、液晶モニターを設置いたしました。

現在の表示内容は各灯台(舢倉島・鳥ヶ首・沢崎・弾埼・伏木)の30分おきの気象状況と天気予報となっておりますが、出来る限り皆様のご要望に沿った形で運用していければと考えておりますので、ご意見・ご要望をお聞かせください。



携帯電話で見れる!「現在のマリーナの気象状況」

現在、マリーナのホームページで公開中の「マリーナの気象状況」に加え、出港中及びマリーナへの移動中、お手元にパソコンがなくとも携帯電話等でマリーナの気象状況(朝・昼・夕の一日3回更新)をお伝えできればと「マリーナの気象・携帯版」を公開いたしましたので、是非ご利用ください。



<http://www.kanreku.jp/marina/index-i.kisyo.html> (携帯版アドレス)

いらなくなった「鯉のぼり」ありませんか!?

現在、ゴールデンウィーク期間中にハーバーの風見に使わせていただくための鯉のぼりを提供して下さる方を募集しております。

おかげ様で、昨年度は多数の鯉のぼりを使わせていただき、マリーナを訪れる方々にも大変好評でした。一度役目を果たした鯉のぼりたちにもう一度泳ぐ機会を与えてあげれば、鯉のぼりたちも本望ではないでしょうか。皆様のご家庭の押入れにしまってあるこいのぼりや、捨てようと思っていた鯉のぼりがありましたら、是非マリーナまでお持ち寄りください。